



NANKO SHRINE

In 1922, Nanko Shrine was built thanks to Eiichi Shibusawa's efforts. Sadanobu Matsudaira, the Lord of Shirakawa, is enshrined there. At the "Nanko Shrine Museum", relics of Sadanobu and the calligraphy of Shibusawa are exhibited and stored.

Every spring, the "Rakuou Sakura", a weeping cherry tree that Sadanobu planted, blooms beautifully.

1922 (大正11)年、渋沢栄一の尽力により南湖神社が建立されました。御祭神として白河藩主の松平定信が祀られています。境内には、定信公の遺品や渋沢氏の書を展示・収蔵した「南湖神社宝物館」があります。

春には、定信が植えたものと言われている枝垂れ桜の「楽翁桜」が見事に咲き誇ります。

私が担当する授業では、ゲームをしたり、自分の子どもの頃の写真、好きだったテレビ番組・お菓子を紹介したりして、英語だけではなく、海外の文化も伝えるようにしています。なぜなら、文化を知ることによって言葉に興味



ウィリアム・ゴジークロス先生(カナダ)

が湧き、勉強する目的につながるからです。私も「日本に住みたい」という目的を持って、毎日日本語を勉強しました。

「どうしたら英語が上達しますか？」

-"Don't overthink. Do!"

(考えすぎないで。ただやるのみ！)

英語でひとこと!

Hello

Oops! (あつ! / おっと!)



◇日本語には、この"Oops!"にぴったり当てはまる言葉がありません。ウィル先生は、分かる方がいたら教えて欲しいそうです。



災害復旧が完了した小峰城

東日本大震災による小峰城の石垣修復は、私たちに多くのことを教えてくれました。修復を行った箇所では、これまでも、繰り返し修復されてきたことが確認できました。過去の修復では、石垣の平面形状を直線から円弧状に変更したり、石垣の下部に前押さえ石を設置するなど、崩落や変形が起らないよう、知恵を絞り、工夫してきたことが分かりました。石垣修復は、調査で確認した石垣の構造(石垣の形状や勾配、栗石層の幅など)をもとに行いました。構造や地盤などに弱さがあり、補強が必要な場合には、実際に確認した過去の修復方法を参考にし、伝統工法の範囲内で補強を行っています。

小峰城の石垣

① 災害復旧で分かったこと
② 将来に守り伝えていくために



竹之丸石垣上面の整備

石垣復旧メモ

小峰城の石垣修復は「小峰城歴史館」の展示で詳しく知ることができます。解体や石積みなど、実際の作業の様子も映像でご覧いただけます。

災害復旧の工事は終了しましたが、今後は、石垣や盛土が崩落した範囲を参考に、その外側に柵や園路を設けるなど、万一の災害発生に備えた整備や、石垣に影響する樹木の管理も行っていく予定です。また、石垣をより良い姿で残していくため、石垣面ごとの状態(変形や石材の劣化など)を記録する「石垣カルテ」を作り、継続的な観察を行っていきます。震災からの復旧で得た経験と、修復に伴う調査で分かった情報をいかし、小峰城の石垣を未来へ引き継いでいきます。

文化財課 ☎ 2310